

第28回海洋開発シンポジウム

2003年7月16日 [水] - 17日 [木]

下記のように第28回海洋開発シンポジウムを開催致しますので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 主催：(社)土木学会 (担当：海洋開発委員会)
 2. 期日：2003年7月16日(水)～17日(木)の2日間
 3. 場所：石川厚生年金会館 ウェルシティ金沢 (金沢市石引4-17-1、電話：076-222-0011、http://www.kjp.or.jp/hp_22)
JR金沢駅下車、西口北陸鉄道バスターミナル4番線よりバスで20分、出羽町下車徒歩3分。または駅よりタクシー15分。
 4. 参加方法：参加無料 (事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場下さい)
 5. 論文集：今回より、論文集は原則として事前販売とします。残部があれば会場でも販売しますが、現金扱いのみになりますので、請求書扱で後日払いをご希望の方は、必ず事前購入をお願いします。事前購入申込方法は、土木学会海洋開発委員会のホームページをご覧ください。
(<http://www.cv-ocean.com/>)
申込期限は、7月3日(木) 17:00 [厳守]
論文集は、請求書類を同封して締切日後 (7月7日頃) 一斉に発送します。(価格：税込 6,000円 (送料別))
 6. 発表時間：1論文17分 (発表12分、討議5分)
 7. 懇親会：(1) 日時：7月16日(水) 19:00～21:00
(2) 会場：ウェルシティ金沢
(3) 参加費：6,000円
 8. 見学会：(1) 日時：7月17日(木) 9:00～12:30
(2) コース：会場⇒千里浜⇒金沢港⇒大野からくり記念館⇒銭谷五兵衛記念館
(3) 参加費：無料
(4) 定員：40名
- * 申込方法：懇親会、見学会とも、7月16日(水) 10:00～シンポジウム会場総合受付にてお申してください。
9. 問合せ先：土木学会・研究事業課 (担当：磯崎)
TEL：03-3355-3559 メール：isozaki@jsce.or.jp

プログラム—土木学会海洋開発委員会のホームページにも掲載しています。

(<http://www.jsce.or.jp/committee/ocean/ocean.htm>)

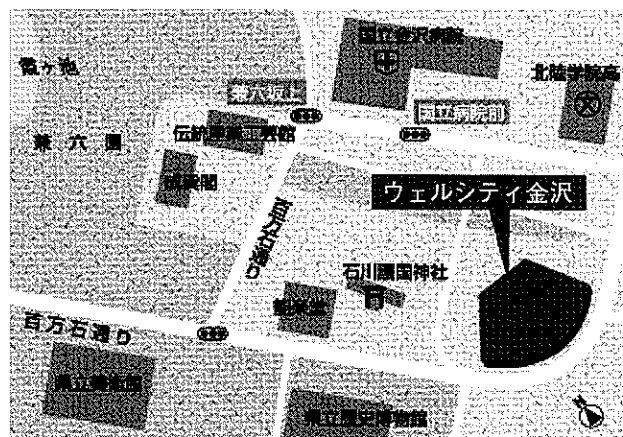
《プログラム》

7月16日 (水)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
8:45～8:55	開会挨拶			
9:00～10:25	設計波	人工リーフ・潜堤	干潟 (景観)	海岸侵食
10:35～12:00	埋立	護岸・越波	海洋環境 (1)	海岸変形事例
12:50～15:40	特別セッション 海上埋立を支える要素技術と 環境保全技術	特別セッション 設計ツールとしての新しい数値 解析の応用 ～波浪推算から耐波設計まで～		
15:50～18:50	特別セッション 油流出事故の環境影響及び対策 ～ナホトカ号油流出事故の教訓～			特別セッション 自然共生型事業 ～社会的合意形成に向けて～

7月17日 (木)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
9:00～10:25	環境と生態 (1)	ブロック・波力	設計 (1)	氷
10:35～12:00	環境と生態 (2)	防波堤	設計 (2)	流出油
12:50～14:15	海洋エネルギー	港湾構造物	施工 (1)	計測
14:25～15:50	海洋空間利用	港湾の管理	施工 (2)	海洋環境 (2)
16:00～17:25	海底地盤	浮体		海洋環境 (3)
17:25～17:35	閉会挨拶			



第1日目 (7月16日 [水])

第1会場

8:45~8:55

開会挨拶 高山委員長

9:00~10:25

設計波

座長：関本恒浩 (五洋建設)

- 1 段階的碎波係数を用いた不規則波浪変形計算モデルの改良
○合田良実
- 2 太平洋沿岸域における海上風と風波の変動特性に関する研究
○水谷法美・細川顕司
- 3 懸灘海域におけるWAM波浪推算の特性について
水谷雅裕・佐々木高雄・橋本典明・川口浩二・柴木秀之・○鈴木勝之
- 4 波と流れの相互干渉を考慮したBoussinesq方程式による数値解析
○沖 和哉・酒井哲郎・芦谷淳志
- 5 透過性構造物を有する多方向不規則波浪場の計算方法
○金澤 剛・長山英樹・藤原隆一・松村章子

<休憩 10:25~10:35>

10:35~12:00

埋立

座長：木村俊克 (室蘭工業大学)

- 6 大規模埋立地における磁気伝送水圧式沈下計による沈下測定
田端竹千穂・水上純一・森川嘉之・○浅香智昭
- 7 変形追随遮水材料を用いた管理型廃棄物海面処分場の遮水工法に関する実海域実証実験
○山田耕一・鶴飼亮行・伊野 同・土田 孝・渡部要一
- 8 関西国際空港2期護岸工事における沈下層厚管理について
○水上純一・下川義和・播本一正
- 9 遮水シートの変形強度特性に関する実験的考察
-引張り強度の温度特性および応力緩和特性の評価-
○狩野真吾・近藤三樹郎・長尾 毅・諸星一信
- 10 潮位変動を考慮した廃棄物埋立護岸の遮水性能に関する研究
北澤壮介・足立一美・森屋陽一・○菱谷智幸・前村庸之

<休憩 12:00~12:50>

12:50~15:40

特別セッション 海上埋立を支える要素技術と環境保全技術

座長：小島治幸 (九州共立大学)

- s-1 藻場造成型防波堤の藻場形成の特性
○安藤 亘・中村憲司・星場順之
- s-2 大規模潜堤における海藻群落の遷移過程と評価
吉村直孝・中西 敬・中泉昌光・長野 章・安田 淳・渡部弘之
- s-3 関西国際空港2期空港島における藻場造成について
○阪上雄康・浅山英章・北澤壮介
- s-4 海域構造物に付加された人工藻場の評価と予測
谷野賢二・桑原伸司
- s-5 臨海部の活性化
穴戸達行・中川研造

<休憩 15:40~15:50>

15:50~18:50

特別セッション 油流出事故の環境影響及び対策

~ナホトカ号油流出事故の教訓~

座長：敷田麻実 (金沢工業大学)

オーガナイザー：敷田麻実 (金沢工業大学)

- s-6 ナホトカ号油流出事故の紹介
○加藤史訓
- s-7 大型油回収船「白山」の油回収システムについて
新保 修・土市 進・野田 登・○伊賀浩之・羽田広希
- s-8 海岸浅海域の高粘度油の回収作業を省力化する油回収システムの研究
○吉江宗生・藤田 勇・佐藤栄治

第2会場

9:00~10:25

人工リーフ・潜堤

座長：高橋重雄 (港湾空港技術研究所)

- 11 捨石潜堤の変形に関する平面的な効果
○荒木進歩・柳原哲也・新島 宏・麓 博史・出口一郎
- 12 人工リーフ開口部の波浪場の数値計算
○南 将人・真野 明
- 13 人工リーフ開口部の鉛直断面流速分布に関する実験的研究
○小山内和幸・南 将人
- 14 海岸構造物における被覆ブロックの安定性に関する実験的研究
○竹内秀典・清水敬三・島田広昭・藤井伸啓・南井 隆・井上雅夫
- 15 低天端型人工リーフの透過特性
井田康夫・○矢野嘉章・榎本明子

<休憩 10:25~10:35>

10:35~12:00

護岸・越波

座長：水谷法美 (名古屋大学)

- 16 新型護岸の開発と施工
○秋山真吾・池谷 毅・木下 勲・安部鐘一・井島雅広・天野英樹
- 17 直立護岸との比較における緩傾斜護岸の越波量の評価と問題点
○芹沢真澄・宇多高明・小林昭男・星上幸良・三波俊郎・古池 鋼
- 18 上部直立壁を設置した非越波型護岸の飛沫および越波の制御特性
○上久保祐志・村上啓介・入江 功・竹鼻直人・早坂健誠・溝上浩平
- 19 人工魚礁の滑動抵抗算定におけるスパイクの効果に関する基礎的研究
○瀬戸雅文・西岡 等・鈴木信男
- 20 数値波動水路CADMAS-SURFの幅広フーチングケーソンへの適用
渡邊和重・山本 悟・梅崎康浩・村上真彦・山谷弘幸・○滑川伸孝

<休憩 12:00~12:50>

12:50~15:40

特別セッション 設計ツールとしての新しい数値解析の応用

~波浪計算から耐波設計まで~

座長：大塚夏彦 (北日本港湾コンサルタント)

オーガナイザー：水谷法美 (名古屋大学)

- s-9 局所的風況予測モデルLAWEPSによる海上風推定
○鈴木 靖・宇都宮好博・三嶋宣明・橋本典明・永井紀彦
- s-10 波浪推算モデルとその利用
○橋本典明・川口浩二
- s-11 設計波の算定について
-浅海波浪変形予測の理論と数値解析手法-
○間瀬 肇
- s-12 港湾における波浪変形計算の活用
○平石哲也・平山克也
- s-13 ポテンシャル理論による浮体運動の非線形シミュレーション法
○谷澤克治
- s-14 海域構造物に作用する波力の数値計算
○許 東秀・水谷法美
- s-15 BEMとVOFを結合した波動場解析法の開発
○鄺 曙光・山城 賢・吉田明德・鮎川慶一朗・入江 功

第3会場

9:00~10:25

干潟(景観)

座長：五明美智男(東亜建設工業)

- 21 大分県中津干潟における海岸の変遷
—写真資料に基づく解析—
清野聡子・○足利由紀子・安部元子・宇多高明
- 22 景観資産としての東京湾第二海堡に関する研究
○岡田昌彰・鈴木 武・朝倉光夫
- 23 砂浜海岸と干潟海岸における児童生徒の環境意識抽出
○森本剣太郎・入江 功・岡本康宏・小野信幸
- 24 CVMによる干潟海岸の環境価値に関する研究
○四角公一・小島治幸・K.S.Sarwar Uddin Ahmed・
後藤恵之輔
- 25 浮体式海上空港設置に伴う周辺環境への影響調査
○福本 正・森山厚夫・田中昌宏・新保裕美・
西原 潔・田中ゆう子

<休憩 10:25~10:35>

10:35~12:00

海洋環境(1)

座長：矢内栄二(千葉工業大学)

- 26 湾奥における生物と共生する護岸の開発
○岡村知忠・田中ゆう子・岩本裕之・鈴木秀男・中瀬浩太
- 27 流況制御ブロックを用いた水質改善技術の適用事例
小橋乃子・安達貴浩・多田彰秀・矢野真一郎・
○神山 泰・小松利光
- 28 通水路型防波堤を有する小規模港湾の堆砂制御に関する研究
○尹 晟鎮・森田修二・出口一郎
- 29 移動境界手法を用いた潮流シミュレーションに関する研究
増田光一・居駒知樹・大塚文和・○小澤宏樹
- 30 有明海の河川内漁港における浮泥堆積メカニズムの解明と港内
水深維持工法の検討
瀬戸口喜祥・○沼野祐二・中泉昌光・長野 章・渡辺道隆

第4会場

9:00~10:25

海岸侵食

座長：加藤史訓(国土技術政策総合研究所)

- 31 透水性ブロックによる海浜安定化工法に関する実験的研究
○上地伸一郎・小島治幸・勢古口順・片岡高岑・原口幹弘
- 32 保安林防護と海岸侵食—新潟県北部中村浜の例
宇多高明・○黒木利幸・中村利行・柿市勝重
- 33 新潟県北部桃崎浜の侵食とその対策について
宇多高明・黒木利幸・○中村利行・柿市勝重
- 34 埋立地に建設された人工海浜の維持管理
—侵食問題について— 矢内栄二・○米田規幸・六崎信夫
- 35 現地遊上域の岸沖漂砂特性
○金高晃二・久保田進・香取完和

<休憩 10:25~10:35>

10:35~12:00

海岸変形事例

座長：久保田 進(日本大学)

- 36 バリ島東部チャンディダサ海岸の侵食実態
宇多高明・大須賀豊・○大中 晋・石見和久・芹沢真澄
- 37 沿岸漂砂卓越海岸における汀線変化と海浜横断形変化の関係
—空中写真と現地踏査の組み合わせをもとに—
宇多高明・○三波俊郎・星上幸良・内木場俊・
芹沢真澄・古池 鋼
- 38 波の遮蔽構造物建設に起因して阿字ヶ浦・那珂海岸で進みつ
つある大規模侵食
○宇多高明・清野聡子・熊田貴之・星上幸良・
芹沢真澄・三波俊郎
- 39 石狩広域沿岸域における土砂移動機構に関する現地観測
○本間大輔・窪内 篤・先川光弘・鈴木晃浩・
隅江純也・山下俊彦
- 40 石狩湾新港周辺海浜の性能評価について
○戸巻昭三・竹沢三雄

<休憩 12:00~15:50>

15:50~18:50

特別セッション

自然共生型事業

～社会的合意形成に向けて～

座長：古川恵太(国土技術政策総合研究所)

オーガナイザー：清水隆夫(電力中央研究所)

オーガナイザー：古川恵太(国土技術政策総合研究所)

- s-16 事業事例から見えた合意過程
柵瀬信夫・林 文慶・越川義功・工藤孝浩・
村橋克彦・金子兼一
- s-17 住民との合意形成に基づく海岸整備計画検討の実践
—千葉県白渚海岸の例—
清野聡子・宇多高明・芹沢真澄・峰島清八・
○高橋和彦・星上幸良
- s-18 自然共生・環境修復関連事業の合意形成における研究者・技
術者の役割と課題
○清野聡子・宇多高明
- s-19 広島県尾道糸崎港における干潟再生事業
春日井康夫・久本忠則・中山康二・○松本英雄
- s-20 干潟の安全・再生の考え方
—泡瀬干潟問題への環境NPOの取り組みを例に—
○開発法子
- s-21 学会間連携による科学的議論の提起
○灘岡和夫

第2日目 (7月17日 [木])

第1会場

9:00~10:25

環境と生態 (1)

- 座長：桐瀬信夫 (鹿島建設)
- 41 プラヌラ幼生の大量運搬によるサンゴ礁回復技術の開発
○青田 徹・綿貫 啓・大森 信・谷口洋基
 - 42 石狩湾東岸海域の海藻分布特性と河川水の影響
伊藤敏朗・森 信幸・福田光男・○佐藤朱美・金子彰雄・山下俊彦
 - 43 閉鎖性海域の水質浄化への海洋深層水の利用について
鶴谷広一・小沢大造・増山琢也・高橋正征・○金山 進・関本恒浩
 - 44 港湾設置が周辺水域環境に及ぼす影響の実例と水理的考察
○大西外明
 - 45 海浜におけるウミガメ類の孵化に影響する砂中温度の分布と特性
○渡辺国広・清野聡子・宇多高明・山本明男

<休憩 10:25~10:35>

10:35~12:00

環境と生態 (2)

- 座長：中瀬浩太 (五洋建設)
- 46 付着動物相の向上を目指した人工タイドプールの改良工事に伴う現地追跡調査
○田中賢治・橋中秀典・島田広昭・井上雅夫・梶浦 強・藤井賢介
 - 47 海浜公園池における生態系エコサイクルに着目した生態系修復技術の検討
○村上和仁・石井俊夫・瀧 和夫・松島 晔
 - 48 底泥置換覆砂工法の開発と施工
○大谷英夫・上野成三・小林峯男・岡田和夫・織田幸伸
 - 49 「自然共生型海岸づくり」を推進する上での課題点とその解決法
○鳥居謙一・宇多高明・佐藤慎司・清野聡子・櫻井克信・加藤史訓

<休憩 12:00~12:50>

12:50~14:15

海洋エネルギー

- 座長：大久保寛 (新日本製鐵)
- 50 浮遊式洋上風力発電施設の基礎形式に関する研究
○中澤直樹・牛山 泉・関 和希・金綱正夫
 - 51 SPAR型洋上風力発電所の耐風・耐波性能
○新井信一・長尾昌朋・上岡充男
 - 52 風と波の同時作用下における洋上風力発電施設に生じる応力重ね合せの研究
○関田欣治・中村慎吾・吉成岳彦・山下 篤
 - 53 風力発電施設の免震・制振法に関する基礎的実験及び解析
関田欣治・松川育史朗・○石川裕和・林 伸幸
 - 54 風車搭載可能なアーティクレートタワーの風と波に対する応答実験
関田欣治・石川裕和・○吉成岳彦・野本由紀夫・矢後清和

<休憩 14:15~14:25>

14:25~15:50

海洋空間利用

- 座長：清水隆夫 (電力中央研究所)
- 55 漁業後継者問題の要因と対策の構造分析について (北海道苫前町を事例として)
○古屋温美・関いずみ・黒澤 馨・長野 章
 - 56 漁業地区における循環型社会の形成について
○清田 健・古屋温美・関いずみ・中泉昌光・福岡康宣・長野 章
 - 57 保安林の前進および波の遮蔽域形成に伴う沿岸漂砂の変化による自然砂丘の狭小化一近年における寺泊・野濱海岸の変貌一
宇多高明・○酒井和也・熊田貴之・星上幸良・芹沢真澄・三波俊郎
 - 58 波の遮蔽構造物建設に伴う周辺海岸での侵食・堆積を未然に防ぐ手法に関する考察一館山市下原漁港を例として一
星上幸良・小林昭男・宇多高明・○三浦正寛・熊田貴之・三波俊郎
 - 59 千葉県外房に位置する平砂浦海岸における保安林造成と海岸侵食
○星上幸良・小林昭男・宇多高明・熊田貴之・酒井和也・三波俊郎

<休憩 15:50~16:00>

16:00~17:25

海底地盤

- 座長：辻 清 (日本港湾コンサルタント)
- 60 石狩湾新港東防砂堤の吸出しによる沈下被災について
○早川 篤・宮部秀一・高田稔年・上杉 智・荒川泰二
 - 61 混成防波堤におけるマウンドの支持力破壊に関する大規模水理模型実験
○下迫健一郎・土田 孝・増田慎太郎・渡部要一・藤井 敦
 - 62 繰り返し水平荷重を受けるパイプライン直下地盤内の間隙水圧応答について
○高谷富也・Mark F. Randolph
 - 63 水平荷重を受けるサクシオン基礎の安定性に関する模型実験
○山崎浩之・森川嘉之・小池二三勝・矢沢 岳
 - 64 FAモルタルの防砂シート代替材としての適用に関する技術的検討
○元木卓也・吉平健治・鶴谷広一・竹内 剛・小沢大造・井筒庸雄

17:25~17:35

閉会挨拶

友友幹事長

第2会場

9:00~10:25

ブロック・波力

- 座長：伊藤一教 (大成建設)
- 65 被災事例に基づく衝撃波力に対するケーソン部材の設計上の留意点
○津田宗男・高山知司・高橋重雄
 - 66 捨石防波堤全体に作用する波力ならびに堤体内部への波圧伝播の数値計算
合田良実・○松本 朗
 - 67 消波ブロックによる放水口減勢工の抵抗係数について
一実規模テトラポッドの抵抗係数
○鹿島遼一・長谷川寛
 - 68 一層被覆型消波ブロックを用いた護岸の水理特性について
木村克俊・○清水雄平・五明美智男・笠原康祐・佐野朝昭

<休憩 10:25~10:35>

10:35~12:00

防波堤

- 座長：大塚夏彦 (北日本港湾コンサルタント)
- 69 下部通水式海水交換型防波堤の波浪制御効果に及ぼす通水路の影響について
○大村智宏・中村孝幸・大井邦昭・中山哲殿
 - 70 斜め入射波に対する垂下版式反射波低減工の効果
中村孝幸・中山哲殿・○佐伯信哉・神野充輝
 - 71 垂下版式低反射護岸の鉛直混合効果に関する研究
○小野正順・中村孝幸・高木伸雄・中山哲殿
 - 72 浮防波堤の消波効果に及ぼす遊水室型低反射工と没水版の効果について
中村孝幸・○浅井威人
 - 73 傾斜板列型二重カーテン防波堤の海水交換特性に関する研究
小野正順・中村孝幸・高木伸雄・中山哲殿・○亀田千明

<休憩 12:00~12:50>

12:50~14:15

港湾構造物

- 座長：榊山 勉 (電力中央研究所)
- 74 海水交換型スリットケーソンの3次元数値計算による水理特性の評価
○中岡威博・片岡保人・濱崎義弘・竹鼻直人・奥村昌好
 - 75 大型浮体構造物や大型没水構造物と相互干渉する表面波及び内部波の非線形数値計算
○榊沼太郎
 - 76 縦スリット式消波構造物の消波特性を厳密に考慮した任意平面波浪場の解析
○藤田 孝・角野昇八・塩田純土・永田修一
 - 77 大型浮体を構成する浮体要素間の微小間隙における流体共振特性に関する実験的研究
○斎藤武久・荒木孝之・Guoping Miao・石田 啓
 - 78 港内波浪静穏化のための波浪共振装置の組み合わせ効果について
中村孝幸・中山哲殿・時吉 学・○飯干富広

<休憩 14:15~14:25>

14:25~15:50

港湾の管理

- 座長：中村孝幸 (愛媛大学)
- 79 港湾におけるユニバーサルデザインの検討
水谷雅裕・○鈴木 統・松原 淳・服部和広
 - 80 性能照査指標およびAHP手法による港湾構造物の総合評価方法
○関口信一郎・宮部秀一・岸 哲也
 - 81 石狩湾新港を拠点とした舟運による物流コストの削減効果に関する研究
高橋喜一・柴田俊夫・宇佐美宣拓・○寺島貴志・大塚夏彦・佐伯 浩
 - 82 スリットケーソン岸壁における荷役障害対策の研究
新保 修・北島誠治・近川喜代志・○渡辺明洋
 - 83 サイクルパスモデルによるSuper Panamax型コンテナクレーンの荷役時間分析
○鈴木 武

<休憩 15:50~16:00>

16:00~17:25

浮体

- 座長：新井信一 (足利工業大学)
- 84 北海道の漁港における係留船舶の動揺の実態について
○佐藤典之・佐伯 浩
 - 85 コンテナ船およびフェリーの荷役許容動揺量の解析
○佐藤平和・白石 悟・米山治男
 - 86 係留索配置形状が水中係留浮体の動的特性に与える影響の評価
○佐藤太裕・蟹江俊仁・三上 隆
 - 87 係留索の動的挙動を考慮した完全没水浮体の振動特性
○蟹江俊仁・佐藤太裕・三上 隆
 - 88 動揺シミュレーションによる防波堤ケーソンの据付限界条件に関する検討
○米山治男

第3会場

9:00~10:25

設計 (1)

座長：友廣 勲 (大成建設)

- 89 臨港道路富山新港東西線景観設計(ユニバーサルデザインを考慮した自転車歩行者道について)
新保 修・土市 進・石山幸夫・佐川雅悦・○柳 幸一
- 90 FORMに基づく防舷材の信頼性設計法に関する研究
長尾 毅・○岡田達彦・上田 茂
- 91 新湊大橋(仮称)における大規模地震動(L2地震動)設計について
新保 修・土市 進・佐川雅悦・○渡邊理之
- 92 軟弱地盤着底式くし型構造物の合理的設計法の提案
○菊池喜昭・渡邊和重・榎園光廣・山本 悟・幸福辰己
- 93 東京湾海岸の想定高潮偏差と新たな計画偏差について
増田勝人・○柴木秀之・仲井圭二・鈴山勝之

<休憩 10:25~10:35>

10:35~12:00

設計 (2)

座長：藤田 良一 (鹿島建設)

- 94 重力式岸壁の地震時安定性と地震時に作用する土圧の検討
笹島隆彦・先川光弘・橋詰知喜・○大塚夏彦・三浦均也・小濱英司
- 95 パラ荷貨物の岸壁上載荷重の設計値に関する研究
○森屋陽一・長尾 毅
- 96 臨海部埋立地盤の地震危険度の簡易推定法に関する研究
長尾 毅・○岩田直樹・紺野克昭
- 97 係留施設の信頼性設計法における地震時上載荷重
森屋陽一・○長尾 毅
- 98 超軽量コンクリートを用いた浮体構造物の研究
○古田大介・山谷弘幸・奥村耕之・松浦正己・田村一美・木原一慎

<休憩 12:10~12:50>

12:50~14:15

施工 (1)

座長：遠藤茂勝 (日本大学)

- 99 高粘性溶液を用いたスラグ流の特性について
○小川 元・落合 実・北澤賢次・遠藤茂勝
- 100 中層浮魚礁設置精度の向上に関する研究
小野正順・○松山起也
- 101 浅海域における自動車道路用水中トンネルの開発
○藤田良一・三上 隆・桑島隆一・高橋正夫・柳沼利信
- 102 振動流中における鉛直函体構造物への流体力低減空気放出アクチュエータの性能評価
○飯島 徹・吉田 稔・近藤俊郎・長内戦時・黒島利一
- 103 金沢港新港湾計画における防波堤等整備手順の検討
波間純男・土肥俊満・松本祐二・○竹内 悟・長沼淳也・坂井美文

<休憩 14:15~14:25>

14:25~15:50

施工 (2)

座長：宮川昌宏 (清水建設)

- 104 関西国際空港2期護岸築造工事における情報化施工への取り組み
池内章雄・角谷清宣・大本泰久・○川上雅彦
- 105 浚渫砂礫の混気圧送時における流動観察と圧力損失に関する研究
益山 忠・○飯田 宏・泉 信也
- 106 日々の工事管理を目的とした流れ・濁り予測システム
稲垣 聡・○田中昌宏・奈良 靖・齋藤勲雄・日野 勝
- 107 底開バージ土砂投入直後に発生する気泡流動場の観測
○松田信彦・松原雄平・檜谷 治・山本貴司

第4会場

9:00~10:25

氷

座長：泉山 耕 (海上技術安全研究所)

- 108 多雪地帯における氷の特性に関する基礎的研究
高橋喜一・○宇佐美宣拓・柴田俊夫・松尾優子・植田知行・佐伯 浩
- 109 舟運関連施設における冬期間の結氷対策
高橋喜一・宇佐美宣拓・○柴田俊夫・大塚夏彦・寺島貴志・佐伯 浩
- 110 Unconsolidated layer modelのせん断強度特性に関する基礎的研究
○松尾優子・Sergey Kochkin・近藤浩文・横山 茂・木岡信治・佐伯 浩
- 111 Ice Scour Event [氷による地盤掘削現象]に関する計算モデルの現地への適用性に関する一考察
○木岡信治・窪内 篤・佐伯 浩
- 112 北海道オホーツク海沿岸部における海水の底面形状とその分析
○山本泰司・木岡信治・本間大輔・先川光弘・堺 茂樹

<休憩 10:25~10:35>

10:35~12:00

流出油

座長：中澤直樹 (システム工学研究所)

- 113 氷盤下に流出した油と氷盤の分離法に関する研究
○金編康平・近藤浩文・大塚夏彦・米田克幸・柿崎裕太・佐伯 浩
- 114 流出油の水中取り込み現象について
○泉山 耕・宇都正太郎・堺 茂樹
- 115 高粘度液体の管内空気輸送における圧力損失特性
○藤田 勇・吉江宗生・佐藤栄治・水谷雅裕・佐野正佳
- 116 砂地盤への回収油の浸透機構に関する実験的研究
金編康平・○近藤浩文・大塚夏彦・佐伯 浩
- 117 海水と地盤との摩擦係数に与える因子の効果について
○竹内貴弘・佐々木幹夫・三浦一夫

<休憩 12:10~12:50>

12:50~14:15

計測

座長：東江隆夫 (大成建設)

- 118 実海域におけるGPS波浪計・津波計の性能確認実験
加藤照之・寺田幸博・○松岡幸文・高田美津雄
- 119 石川海岸八田地区の汀線位置変化に関する基礎的研究
鷺見浩一・○野口将志・水谷法美
- 120 各種海底設置式波浪計による方向スペクトルの比較実証観測
永井紀彦・橋本典明・Atle Lohrmann・○三井正雄・小梨昭一郎・久高将信
- 121 アレー配置ブイによるGPS波浪観測システムの提案と波の到来方位推定精度
○藤井英信・河口信義・石田廣史・出口一郎
- 122 沿岸波浪観測における複合構造方式の海底・係留ケーブルの開発と現地施工
○永井紀彦・中山政勝・中島博晴・井上 満・清水康男・中川 透

<休憩 14:15~14:25>

14:25~15:50

海洋環境 (2)

座長：瀬戸雅文 (福井県立大学)

- 123 潮位差を利用した海水交換システムの開発
○足達康行・今藤 勇・坂本裕明・鈴木康正
- 124 遼上域の漂砂濃度測定手法の検討
○上野大地・久保田進
- 125 石狩湾中央海域における秋期の流動・水質特性
○王毅・隅江純也・森 信幸・伊藤敏朗・山下俊彦
- 126 石狩湾新港の建設と海浜植生の消長について
○伊東公人・荒川泰二・大倉正憲
- 127 風による副振動の励起
○吉岡 洋・村山英俊・高山知司・芹澤重厚

<休憩 15:50~16:00>

16:00~17:25

海洋環境 (3)

座長：山下俊彦 (北海道大学)

- 128 渤海湾内の波浪に関する簡易推算法の精度
高山知司・○木村雄一郎
- 129 沿岸漂砂卓越場における混合粒径砂の3次元分級に関する実験と計算
○熊田貴之・小林昭男・酒井和也・柴崎 誠・宇多高明・芹沢真澄
- 130 浚渫土砂を利用した湾口部地形改変による海水交換促進工法
山崎宗広・村上和男・松本英雄・出路康夫・森田真治・○和田 誠
- 131 準3次元海浜流モデルの現地適用性
○口石孝幸・黒岩正光・加藤憲一・松原雄平・野田英明